

ログオン・ユーザ個別設定手順書
(運用管理クライアント編／業務クライアント編)

第二章 業務支援システム／StarOffice 環境設定手順

第3版

平成26年1月30日

目 次

2. 業務支援システム／StarOffice 環境設定手順.....	1
2.1. 作業概要	1
2.1.1. 対象マシン／作業予定時間	1
2.1.2. 準備物	1
2.1.3. 前提条件	1
2.2. InternetExplorer 設定	2
2.3. 業務支援システム設定	7
2.3.1. 業務支援システム起動用アイコンの設定	7
2.3.2. 業務支援システム確認項目	9
2.4. StarOffice 設定.....	10
2.4.1. StarOffice 起動用アイコン設定	10
2.4.2. StarOffice 確認項目	10

2. 業務支援システム／StarOffice 環境設定手順

2.1. 作業概要

2.1.1. 対象マシン／作業予定時間

対象マシン	作業予定時間
業務クライアント	約 30 分
運用管理クライアント	

2.1.2. 準備物

特になし。

2.1.3. 前提条件

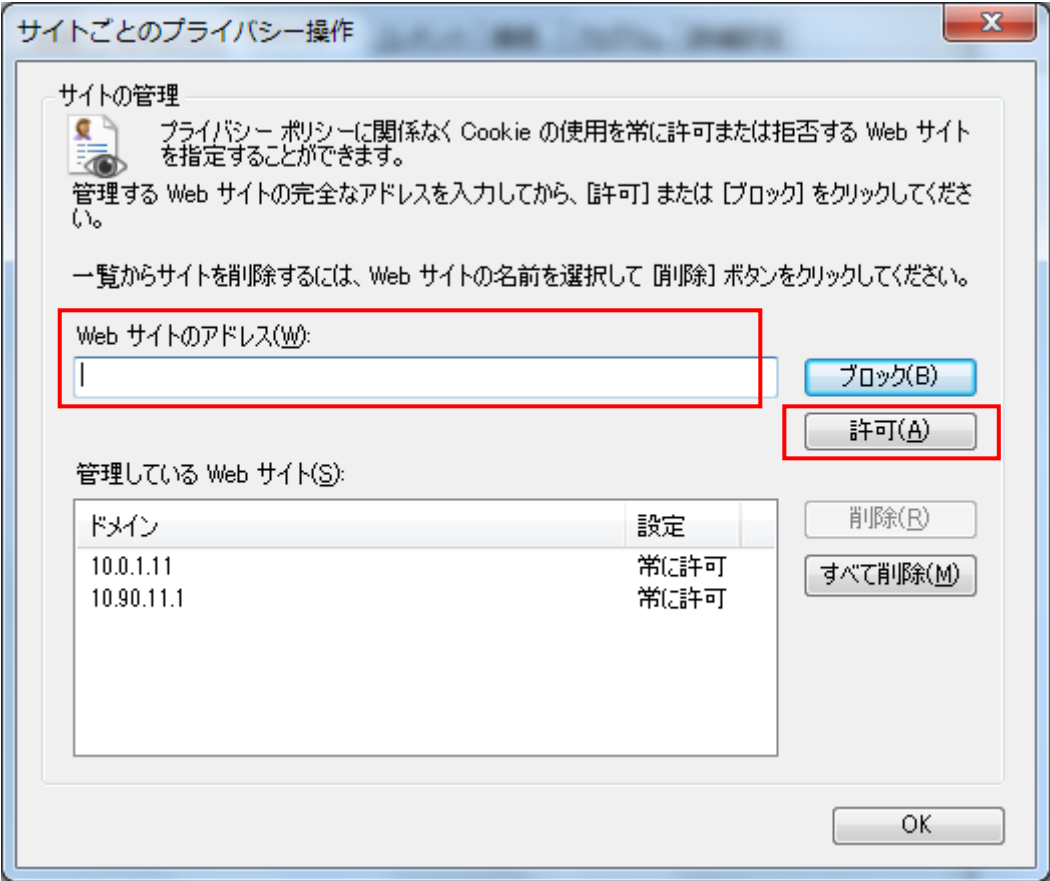
環境設定を実施するための前提条件は、以下のとおりです。

項番	前提条件	確認
1	<p>業務クライアントのログオンユーザは業務を実施するユーザ（Yyyy-CLnnn）であること</p> <p>業務を実施するユーザ：Yyyy-CLnnn ※Yyyy = 都道府県名 例) 北海道 = Hokkaido nnn = アカウント払い出し順に応じて付与する 3 桁の連番 例) 211</p> <p>業務を実施するユーザの例) Hokkaido-CL211</p>	<input type="checkbox"/>
2	<p>運用管理クライアントのログオンユーザは業務を実施するユーザ（Yyyy-CLnnn）であること</p> <p>業務を実施するユーザ：Yyyy-CLnnn ※Yyyy = 都道府県名 例) 北海道 = Hokkaido nnn = アカウント払い出し順に応じて付与する 3 桁の連番 例) 212</p> <p>業務を実施するユーザの例) Hokkaido-CL212</p>	<input type="checkbox"/>

2.2. InternetExplorer 設定

※ 以下の作業は、業務クライアント、運用管理クライアントにて行います。

- (1) 作業対象クライアントにて Internet Explorer を起動します。
- (2) メニューバーより [ツール] → [インターネットオプション] をクリックします。
- (3) [プライバシー] タブを選択し、[サイト] をクリックします。
- (4) 「サイトごとのプライバシー操作」画面で、「Web サイトのアドレス」欄に「運用支援サーバの IP アドレス(10.0.1.11)」を入力し、[許可] をクリックします。



- (5) (4)と同様の手順にて「Web サイトのアドレス」欄に「連合会連携サーバの IP アドレス (10.xx.11.1)」を入力し、[許可] をクリックします。

※ xx : 連合会番号

※ 連合会番号が 1 桁の場合、IP アドレスの xx は先頭のゼロを除いて設定してください。

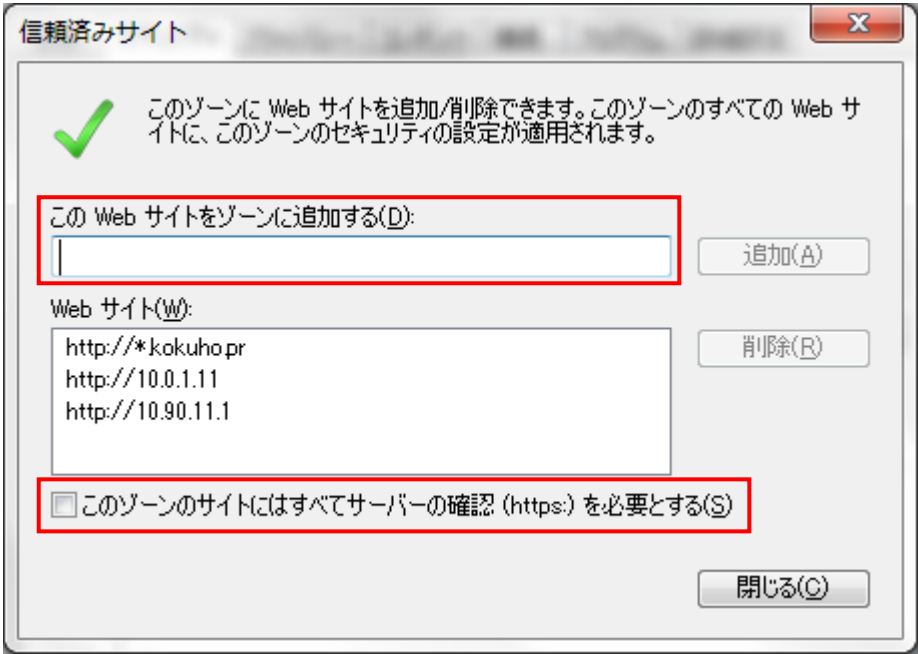
(例) 北海道国保連合会の場合 : 10.1.11.1

- (6) 「管理している Web サイト」欄に「10.0.1.11」と「10.xx.11.1」が “常に許可” と表示されていることを確認し、右下の [OK] をクリックし画面を閉じます。

《確認項目》

管理している Web サイト		確認
10.0.1.11	“常に許可” と表示されていること	<input type="checkbox"/>
10.xx.11.1	“常に許可” と表示されていること	<input type="checkbox"/>

- (7) 「セキュリティ」タブを選択し、「信頼済みサイト」を選択して「サイト」をクリックします。
- (8) 「このゾーンのサイトには～」チェックボックスにチェックがされている場合はチェックを外します。

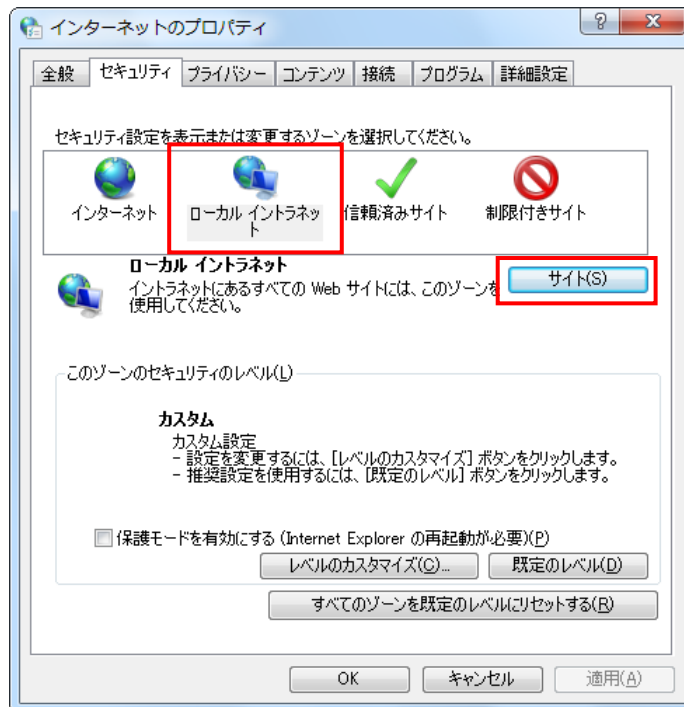


- (9) 「この Web サイトをゾーンに追加する」に「http://10.0.1.11:8080/」（中央会運用支援サーバ）と入力し、「追加」をクリックします。
- (10) (9)と同様の手順にて「この Web サイトをゾーンに追加する」に「http://10.xx.11.1:8080/」（連合会連携サーバ）と入力し、「追加」をクリックします。
- ※ xx : 連合会番号
- ※ 連合会番号が 1 桁の場合、IP アドレスの xx は先頭のゼロを除いて設定してください。
- （例）北海道国保連合会の場合 : http://10.1.11.1:8080/
- (11) 「Web サイト」欄に「http:// 10.0.1.11」と「http://10.xx.11.1」が追加されていることを確認し、右下の「閉じる」をクリックします。

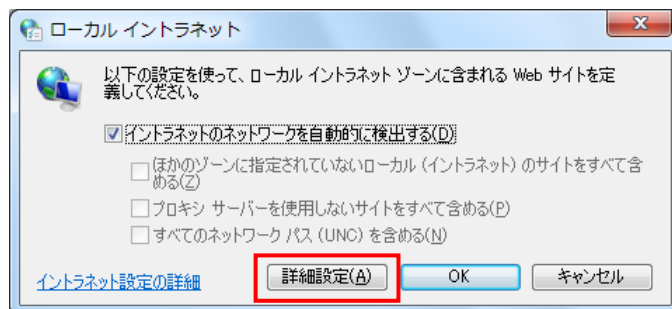
《確認項目》

Web サイト	確認
「http://10.0.1.11」が追加されていること	<input type="checkbox"/>
「http://10.xx.11.1」が追加されていること	<input type="checkbox"/>

- (12) 「インターネットオプション」画面にて、「ローカルイントラネット」を選択後に「サイト」ボタンをクリックします。



- (13) 「ローカルイントラネット」画面が表示されましたら、「詳細設定」ボタンをクリックします。



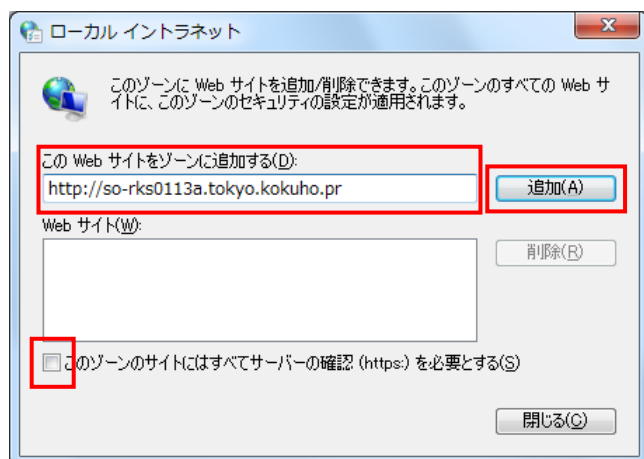
- (14) 「ローカルイントラネット」画面が表示されましたら、「この Web サイトをゾーンに追加する」に『http://so-ホスト名(連合会連携サーバ).yyyy.kokuho.pr』を入力し、「このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認 (https:)を必要とする」のチェックが外れていることを確認し、「追加」ボタンをクリックします。

※ yyyy には、連合会名を以下のように設定すること

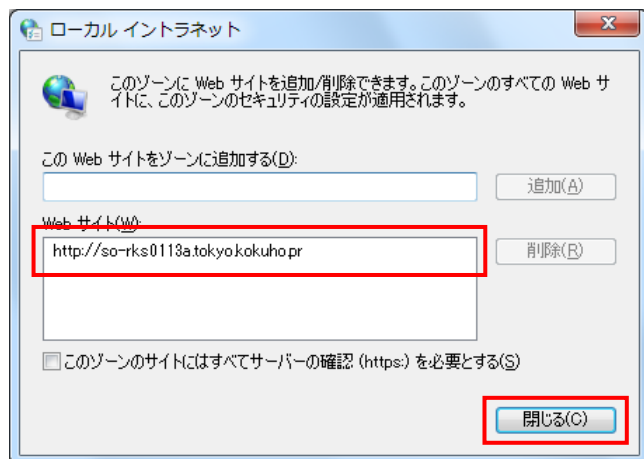
例：東京都国保連合会の場合

http://so-rks0113a.tokyo.kokuho.pr

- ※ 「サイトは既に信頼済みサイトゾーンにあります～」画面が表示されましたら、「はい」ボタンをクリックしてください。



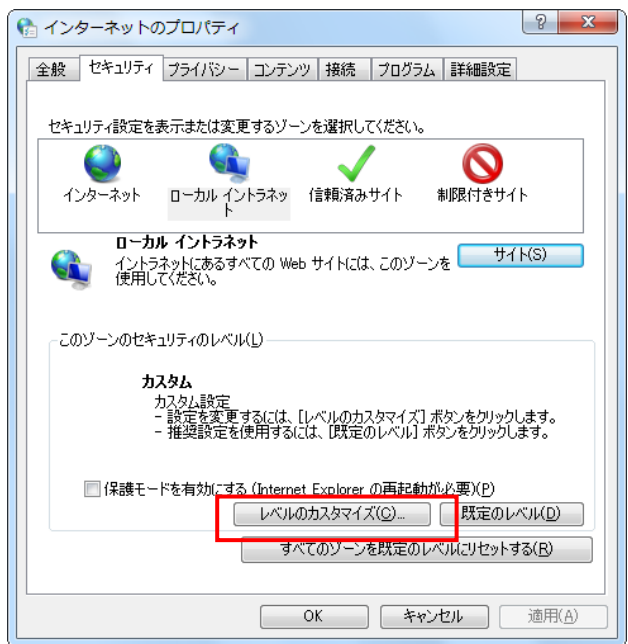
- (15) 「ローカルイントラネット」画面にて、「Web サイト」に上記で入力した値が追加されていることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。



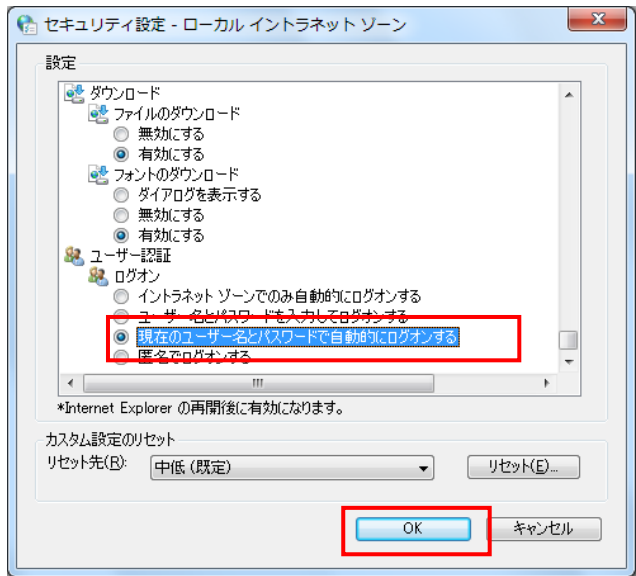
《 確認項目 》

項番	内容	確認
1	「Web サイト」に http://so-rks01xxa.yyyy.kokuho.pr が追加されていること (xx:連合会番号 yyyy:連合会名)	<input type="checkbox"/>

- (16) 「ローカルイントラネット」画面に戻りますので「OK」ボタンをクリックします。
- (17) 「インターネットのプロパティ」画面に戻りますので、「このゾーンのセキュリティのレベル」欄の「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックします。



- (18) 「セキュリティ設定 - ローカルイントラネットゾーン」画面が表示されましたら、「ユーザ認証」「ログオン」にて「現在のユーザ名とパスワードで自動的にログオンする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- (19) 「警告」画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。
- (20) 「インターネットのプロパティ」画面に戻りますので「OK」ボタンをクリックし、その後、Internet Explorer 右上の「×」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

《確認項目》

項番	内容	確認
1	「現在のユーザ名とパスワードで自動的にログオンする」が選択されていること	<input type="checkbox"/>

2.3. 業務支援システム設定

2.3.1. 業務支援システム起動用アイコンの設定

※ 以下の作業は、業務クライアント、運用管理クライアントにて行います。

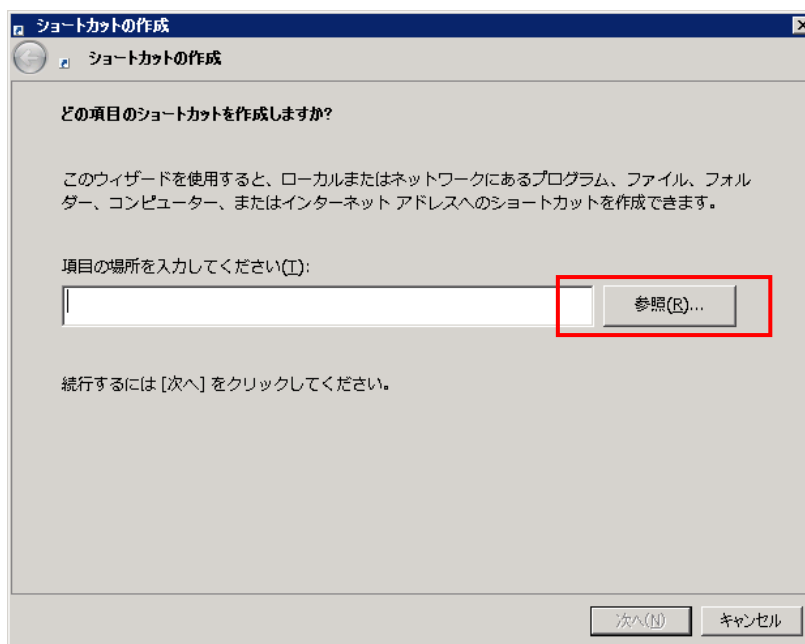
- (1) 作業対象クライアントのデスクトップに以下のショートカットが存在する場合、選択し〈Delete〉キーを押下し削除してください。（存在しない場合は、削除は必要ありません。）

《確認項目》

削除するショートカット名	確認
業務支援システム～ログイン画面	<input type="checkbox"/>

- (2) デスクトップ上で右クリックし、[新規作成] → [ショートカット] をクリックします。

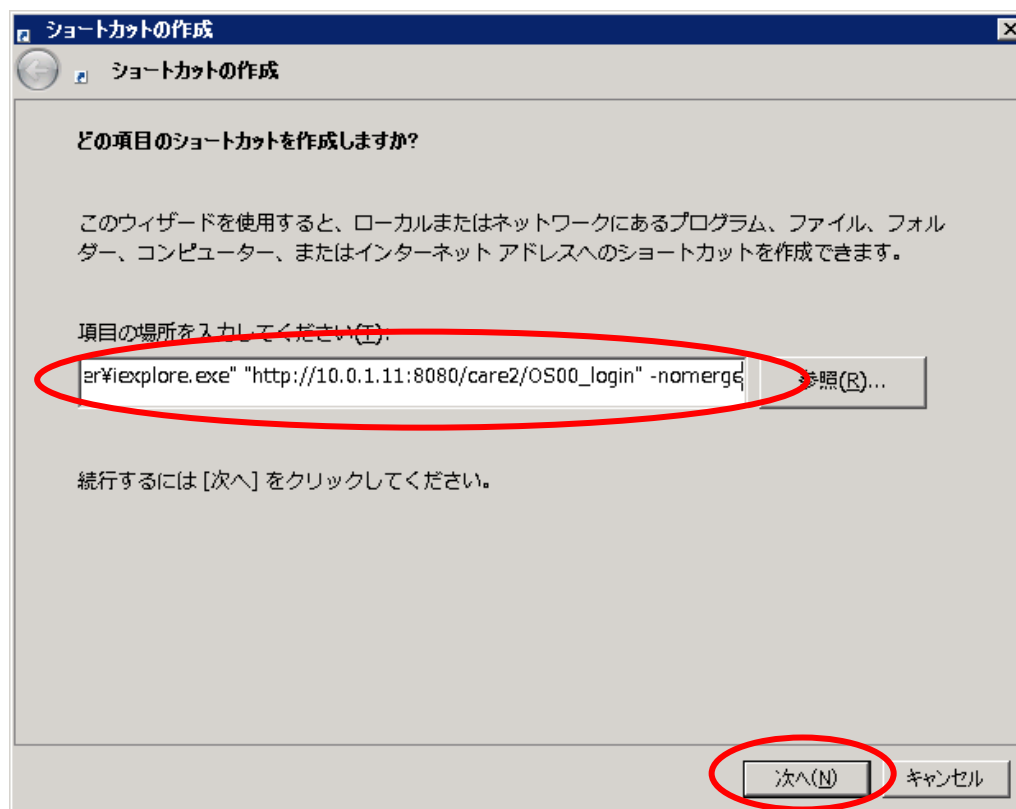
- (3) 「ショートカットの作成」画面が表示されますので、[参照] をクリックします。



- (4) 「ファイルまたはフォルダーの参照」画面が表示されましたら、[コンピュータ] → [ローカル ディスク (C:)] → [Program Files(x86)] → [Internet Explorer] → [iexplore.exe] を選択し、[OK] をクリックします。
- (5) 「ショートカットの作成」画面に戻りますので、「項目の場所を入力してください」に以下の文字列を追記し、[次へ] をクリックします。

追記する文字列 : `△"http:// 10.0.1.11:8080/care2/OS00_login"△-nomerge`

※△には半角スペースが入ります。



- (6) 「名前の指定」画面が表示されますので、「このショートカットの名前を入力してください」に「業務支援システム～ログイン画面」と入力し、[完了] をクリックします。
- (7) デスクトップ上に「業務支援システム～ログイン画面」が存在することを確認します。

《確認項目》

項番	内容	確認
1	デスクトップ上に「業務支援システム～ログイン画面」が存在すること	<input type="checkbox"/>

2.3.2. 業務支援システム確認項目

※ 以下の作業は、業務クライアント、運用管理クライアントにて行います。

- (1) 以下の項目は導入した業務クライアント、運用管理クライアントで実行し、動作確認を行ってください。

《確認項目》

全クライアント確認項目	確認
業務支援システム～ログイン画面のアイコンをダブルクリックし、ログイン画面が表示できること	<input type="checkbox"/>

- (2) 導入したクライアントで「業務支援システム」にログインします。

※ 現行システムの「業務支援システム」で使用しているユーザ ID、パスワードでログインします。

- (3) 導入したクライアントで以下の動作確認を行います。

《確認項目》

1 台のクライアントで行う確認項目	確認
メニュー画面から資料一覧のボタンを押した時、別タブが開き資料一覧画面が表示される（「10.xx.11.1/document」と表示される） ※xx は連合会番号（例：東京都連合会の場合 10.13.11.1）	<input type="checkbox"/>
メニュー画面より掲示板ボタンを押した時、最新掲載記事一覧が表示されること	<input type="checkbox"/>
画面左にある INDEX メニューより問合せ票入力ボタンを押した時、問合せ票入力画面が開くこと	<input type="checkbox"/>

- (4) 右ペインにて「ログアウト」を行います。

- (5) ログイン画面を閉じます。

2.4. StarOffice 設定

2.4.1. StarOffice 起動用アイコン設定

※ 以下の作業は、運用管理クライアント、業務クライアントにて行います。


※ 業務を実施するユーザ（Yyyy-CLnnn）でログオンして設定を行ってください。

- (1) 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を選択します。
- (2) 「インターネットエクスプローラ」が起動されましたら、「アドレス」に『http://so-ホスト名(連合会連携サーバ).yyyy.kokuho.pr/webotxportal/login』と入力し、<Enter>キーを押下します。

※ yyyy には、連合会名を以下のように設定すること

例：東京都国保連合会の場合

<http://so-rks0113a.tokyo.kokuho.pr/webotxportal/login>

- (3) 「Login Page」画面が表示されましたら、アドレスバー左のをデスクトップ上にドラッグします。
- (4) デスクトップ上に「Login Page」ショートカットが作成されましたら、名前を「StarOffice」に変更します。

2.4.2. StarOffice 確認項目

- (1) デスクトップ上の「StarOffice」をクリックし、「login Page」画面が表示されましたら、「ユーザ ID」「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。StarOffice 画面が表示できることを確認します。
- (2) Internet Explorer を閉じます。

《確認項目》

項番	内容	確認
1	StarOffice 画面が表示されること	<input type="checkbox"/>